

平成27年度 第2回学校協議会

平成27年度第2回学校協議会が10月15日に本校会議室にて執り行われました。

出席者

【学校協議会委員】

寺西 淳 様 (委員長)
西光 正博 様
本村香尾里 様
原田 勝次 様
工藤 京子 様
水上 道子 様

【事務局】

校 長 大門 雅人
教 頭 後藤日出樹
教 頭 奥野 隆博 (司会)
首 席 井迫洋一郎 (記録)

【教職員】

生徒指導部長 錦 信好
総務部長 芝田 悦子
特別活動部長 秋山平八郎 (英語科主任兼務)
図書教務部長 及川 龍貴 (情報科主任兼務)
進路指導部長 大倉 順子

41期学年主任 田中 康之 (社会科主任兼務)
42期学年主任 楠木 麻由
国語科主任 森 美由紀
数学科主任 長谷川節子
理科主任 山橋 勇輝
家庭科主任 泉 千穂
体育科主任 東出 翔馬

国語科 田中 千尋
理科 岩根 啓樹
英語科 棚瀬 夏美

養護教諭 細田 咲紀

1、校長挨拶

学校教育自己診断、授業アンケートの結果を見ていただき、これからの学校経営を担う先生方へのアドバイスや新たな提案など忌憚ない意見をお願いしたい。

2、協議案件提出、協議

① 平成27年度学校教育自己診断結果について（首席より自己診断の報告、その後協議）

Q：自由記述コメントについて、はっきり開示してもらうことはよかったと思う。校則厳格化について生徒本人も理解している上での違反の場合もある、ある程度ルールを作っていくべきではないか。コメントの中

には学校に来てよかったという生徒がいる。楽しく学校に来てもらうことも大事だと思う。

A：言い方や指導方法にもよるのではないかと考える。厳しくする場合はその後のフォローもするようにしたい。

Q：自己診断のコメントについての意見を求める。

A：コメントについて運営委員会で協議し、個人が特定されるもの以外は全てオープンにして広く意見を取り入れたいと考えこのように開示した。見方によって色々であるため、対応は丁寧にしていく。

Q：保護者の回答率が少ない。

A：学校の連絡は生徒を通じて行っている。保護者まで渡っていないこともある。メール連絡網などをもっと活用していきたい。学校としても生徒や保護者に向けた連絡をこまめに行う。

Q：昨年の事案での保護者説明会においても保護者の関心の低さを感じた。アンケートの郵送、公開授業の活性化を含め、学校、保護者、地域の連携を重視すべき。校内研修についても PTA が参加してもらっても良いと考える。

A：PTA 主催の文化祭活動、進路体験談などを企画し実施しているが保護者も忙しくなかなか参加できない状況が続いている。プリントなどで連絡しているが思うようにいかないのが現状。

Q：中学校でも自己診断アンケートを実施している。生徒の学校に対する気持ちも様々なので学校として分析して公表、課題を見つけ対応策を発表、実践することが重要だと考える。学校としてどう取り組むのか。

A：まず協議会の場で検討していただく。そして今回のような校内美化や、教員について、学力向上の施策の改善を図りたい。報告連絡相談できる環境が難しく、教員が広く意見を出すことのできる場の設定をしなくてはいけない。若手とベテランの交流や、教科のバランスの問題もあり、解決には時間も必要。

Q：生徒の評価と教員の評価が伴っていないことは残念。アンケートの内容の追加・変更をするのはどうか。

A：評価の乖離する部分もあるが、現在授業改善を教頭、若手教員を中心に実践している。生徒参画型の新たな学びを研究し行っている。

Q：校内見学をさせてもらったが、下足室・トイレが汚い。

A：学校全体で早急に対応する。

Q：全体の雰囲気として出来無い状況が管理職への批判になっているのが読み取れる。学校のために生徒のためにどうするのかを考え実行することが重要。「昔の困難校は雰囲気がよかった」というが校長はじめ全体で話し合いができていたからこそ。不平不満ではなく建設的な意見交流をしてもらいたい。

Q：緊急対応マニュアルは作成しているのか。

A：校内共有 PC に保存して閲覧可能となっていたのを、プリントアウトし全体周知を図った。

Q：パワハラ・モラハラについての改善は。

A：サービスについての研修は9月に実施。コメントについては分析の上真摯に受け止め対応する。

Q：就職志望の生徒について詳細な説明を。

A：40期は4月当初は100名近い生徒が就職志望であったが、実際応募前見学などをする中で60人強が応募、受験をし、現在内定40名程度となっている。ただ課題として就職後の離職率が高くなりつつある。

Q：体育のプール、長距離の授業の指導についてどう取組を行うのか。

A：授業前後のフォローが大事。授業のバランスも鑑み、見学の申し出については優先する。ただ見学をどのように減らしていくかが課題。

Q：バイク通学、通学路の喫煙などルール違反の生徒が目立つ。注意しても口答えするので困っている。

A: 地域の方からのお叱りや情報の提供を承っている。定期的に見回りをしているがもっと頻繁に行いたい。地域の健全育成の方との朝の見回りもしていきたい。バイクなどの迷惑行為については警察への通報も願います。

② 授業アンケートについて (教頭より説明)

Q: 現在の授業についての意見を教科の主任より求める。

A: 先生方の工夫はここ数年とても進んでいる。理科については ICT の活用、アクティブラーニングの実践など行っている。数学は少人数展開を実施している。課題もあり、複数担当の人員増加を求めるとともに、人員については高校大学連携における大学生のスタッフの導入など計画中である。

Q: 学習意欲の低い生徒、低学力と言われる生徒への今後の対応を考えてほしい。トイレの美化の話題も出たが、生徒とともに学校全体での美化活動をすべきだと考える。

③ 平成28年度教科書採択について (図書教務部部長より説明)

Q: 保護者の経済的な負担を考慮しつつ適した教科書を選んでもらいたい。

A: 学校で各教科が内容や学習の目的に沿ったものを採択している。負担にならないようにしたい。

(その他委員より要望)

今回は自己診断中心の協議となった。厳しい意見もある一方で応援するものもある。次回に向けて課題に対する施策の提示をお願いする。

次回、第3回は1月14日(木)本校にて開催します。